

第1章 はじめに

1. 計画の背景と目的

本市では、平成11年（1999年）3月に行田市景観形成計画を策定し、行田らしい景観の保全と形成に取り組んできました。

この間、社会環境などの変化により、市民ニーズ※は量的重視から質的重視へと価値観の変化や多様化が進んだことから、生活環境の質の向上がより一層求められており、景観まちづくりにおいても「行田らしさ」がこれまで以上に求められています。

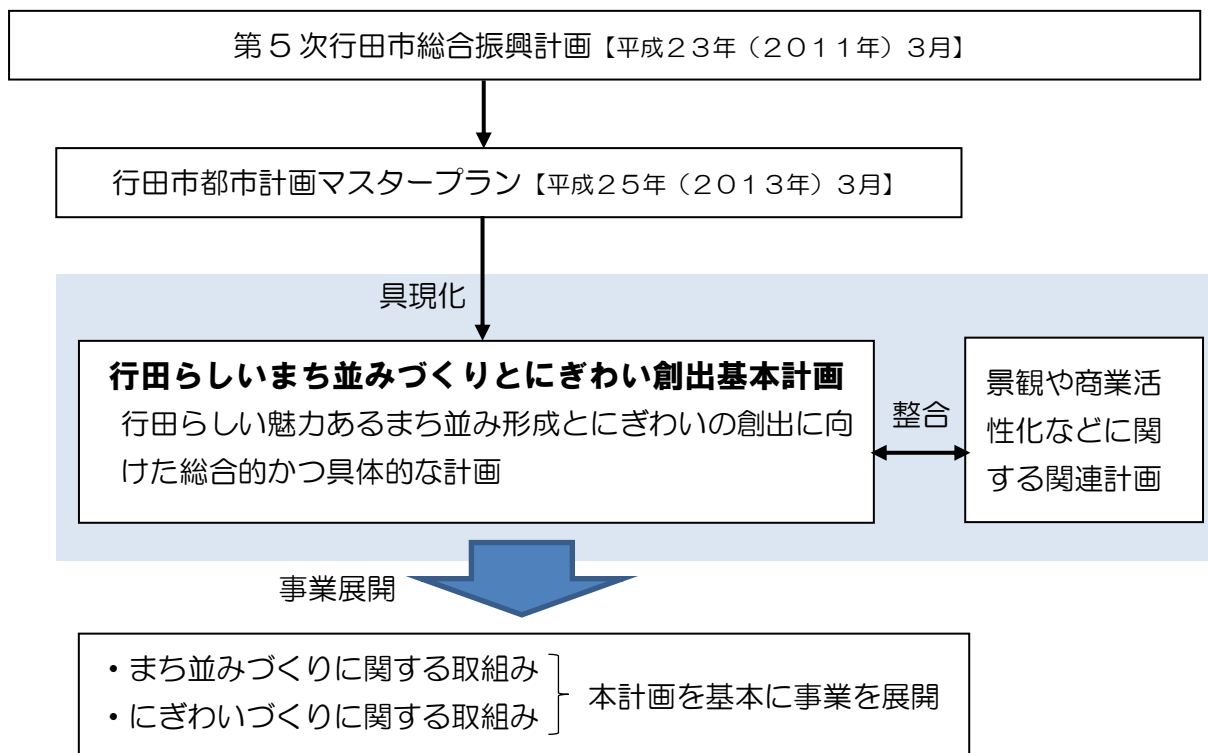
このような社会環境や市民ニーズの変化を受け、平成25年（2013年）3月に策定した新たな都市計画マスタープラン※では、「水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ」を将来都市像とし、重点施策たるリーディングプロジェクトを位置づけ、各施策をスタートしています。

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画は、関連する他の計画との整合を図りながら、行田市都市計画マスタープランをまち並みや景観的な観点から具現化するとともに、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体者の顔が見える計画を策定し、行田らしい魅力あるまち並みの形成とにぎわいの創出を図ることを目的とします。

2. 計画の位置づけ

上位計画及び関連計画との位置づけを下図に示します。

■計画の位置づけ

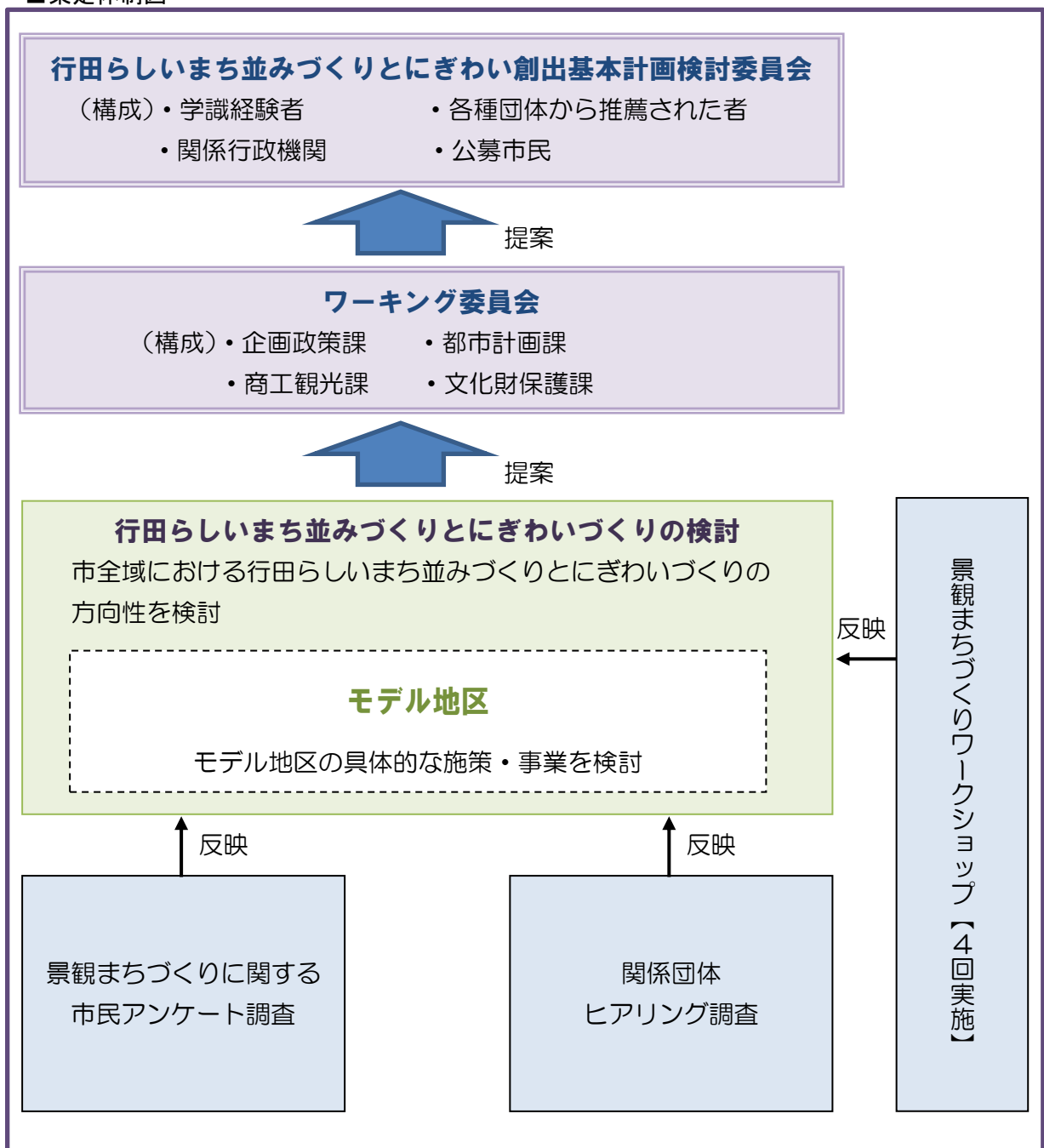


3. 計画の策定体制

計画策定にあたっては、学識経験者や公募市民で構成する「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会（以下、検討委員会）」を設置し、検討を行いました。

また、市民意向を把握するため、市民アンケート調査を実施するとともに、景観まちづくりワークショップを開催し、取組みの方針や具体的な施策・事業を検討しました。

■策定体制図



4. 計画の構成

第1章 はじめに（目的・位置づけ）

第2章 前提条件の整理（上位・関連計画の整理）

市全域における方向性

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

- | | |
|-------------|------------------|
| ○地域資源※の特性 | ○これまでの取組みの整理 |
| ○市民意向に関する特性 | ○まち並みとにぎわいづくりの課題 |

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ○行田らしいまちづくりの基本理念 | ○行田らしさを活かしたまちづくりとは |
| ○行田らしさを活かしたまちづくりの方針 | ○地域資源を核としたまちづくりの方針 |
| ○地域資源のつながりに関する方針 | ○行田らしいまちづくりの推進の考え方 |

モデル地区における方向性

第5章 モデル地区の概要

- | | |
|-----------|-----------|
| ○モデル地区の選定 | ○モデル地区の概要 |
|-----------|-----------|

第6章 モデル地区の方針と具体的施策

- | | |
|------------|-----------|
| ○モデル地区の展開 | ○モデル地区の方針 |
| ○方針別の具体的施策 | ○施策展開の方針 |

第7章 事業推進に向けたプログラム

- | | |
|--------------|-------------------|
| ○施策・事業の実現化方策 | ○段階的な取組内容 |
| ○役割分担とスケジュール | ○PDCA サイクルによる進行管理 |